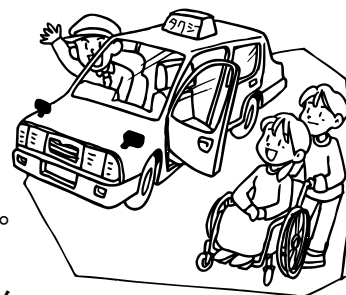


## 介護タクシーって…？お得なの？



「介護タクシー」…最近耳にすることがよくあるかもしれません。  
名前の通り、介護もしてくれるタクシーのことです。

ただ、介護保険上、「介護タクシー」というサービスはありません。  
あるのは“通院等のための乗車または降車の介助”もしくは訪問介護の“身体介護1”です。

一般的には、介護福祉士やヘルパーの資格を有する運転手が車両の乗り降りの介助のほか、診療受付などの介助をしてくれます。

保険給付対象となるにはいくつかの条件があります。

○要介護1～5の認定を受けている

○対象となる外出先は、病院の通院、役所の手続きや申請、選挙の投票、近所の食料品店への買い物など

○ケアマネジャーが作成するケアプランに位置づけてある

### ①“通院等のための乗車または降車の介助”

外出する際、介護タクシーの車両の乗り降りを介助してくれます。歩ける方でも、車イスの方でも介助してくれます。基本的には車イスのまま乗ることができる車両になりますので、車イスでも安心、安全に目的地へ行くことが可能です。

### ②“身体介護1”

訪問介護にて位置づけられています。車両の乗り降りというよりは、ベッドから車イスへの移乗、またはその逆、自宅内(ベッド)から車両までの移動を全て運転手が介助すると、

①の“通院等のための乗車または降車の介助”ではなく、“身体介護”という扱いになります。ちなみに“身体介護1”の“1”というのは30分を表します。

さて、介護タクシーは一般的なタクシーよりも安いのでしょうか？

結論からいえば、それほど大きな差はありません。が、一般的なタクシーよりも実際は安いです。(※同等もしくは高い場合もあるかもしれません)

これは、乗り降りや身体介護の部分に保険が適用されており、利用料の一部が保険で出るというのが理由です。移送時のメーター料金分は実費負担となりますが、一般的なタクシーに比べ、メーターの料金設定が安価になっていることも理由の一つです。

「介護タクシー」は前述の条件の通り、ケアプランに位置づけられていないと利用できません。すなわち、完全予約制です。道で走っている「介護タクシー」を拾うことはできません。あくまでも、介護が必要な人のためのサービスですので、ご注意ください。

入院や退院の際の利用時は保険適用になりません。全額実費になりますので、一般のタクシーよりも大幅に高額になる可能性もありますのでご注意ください。